

1 題材名 CM ソングをつくろう

2 題材の目標

○言葉や音素材の特徴、反復、対照などの構成や全体のまとまりに関心を持ち、それらを生かして音楽表現を工夫して旋律をつくる活動に主体的に取り組む。(音楽への関心・意欲・態度)

○リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現したいイメージを持ち、言葉や音素材の特徴を生かし、反復、対照などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。

(音楽表現の創意工夫)

○音階の特徴、反復、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくる。(音楽表現の技能)

3 題材について

本校では鑑賞の学習において、音楽を聴いて感じたことを言葉で表現する際のヒントカードを活用している。その効果として、自分の言葉で音楽のよさや美しさを表現することができる生徒が増え、「味わって聴く力」については高まってきていると感じられる。一方で、「創意工夫して表現する力」は十分身に付いていないと感じる。生徒が関心をもって主体的に活動に取り組み、思いや意図をもって創意工夫した音楽表現ができるようにするためには、生徒が不安を感じている記譜の負担を減らし、音を音楽へと構成していく楽しさを体験できる活動の時間を十分に確保することが必要であると考えます。

本題材では、日常生活とも関わりの深いCMソングを取り上げ、生徒が関心をもって創作活動に取り組むことができるようにする。さらに、よりよい音楽表現を思考・判断し、表現できるよう、グループで音を出しながら意見を出し合って作品を練り上げていく。歌詞も考えることで、表現したいイメージがしやすくなるを考える。創作の際は表現したい思いや意図を明らかにし、そのイメージに合うように構成していく。また、学習計画表を活用して、生徒が見通しをもって活動に取り組み、終末で本時の活動を振り返らせることで、考えの変容を見とれるようにする。

4 学習活動と指導計画(4時間扱い)

時	学習活動	評価の観点			評価規準
		関	創	技	
1	PRしたい市内の名所や名産品を調べて決め、伝えたい思いや意図をもとに歌詞を考える。 言葉の抑揚を図形楽譜に記入し、音高を確かめる。	◎			CMソングの役割や曲の構成に関心を持ち、桜川市をPRするCMソングをつくる活動に主体的に取り組んでいる。
② 本時	歌詞の抑揚を基にキーボードを使って旋律を付け、CMソングを創作する。		◎		言葉のリズムや抑揚を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、反復、対照などの構成を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。

3	他のグループと交流し、よりよい音楽表現を練り上げる。		◎	音階の特徴、反復、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくっている。
4	創作したCMソングを発表し合い、相互評価を行う。		◎	リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、反復、対照などの構成を工夫し、自分たちがつくった作品をどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

5 本時の指導

(1) 目標

言葉の抑揚や反復、変化、対照などの構成を工夫し、作品を通して伝えたい思いや意図をもつ。

(2) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	支援と評価 (◎は研究の視点, ■は人権教育の視点)
1 前時までの学習内容を確認する。 ・言葉の抑揚 ・構成 (反復, 変化, 対照)	・前時までの活動を全体で確認し, 本時の流れを確認する。 ・自由に発言できる和やかな雰囲気づくりをする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">言葉の抑揚を基に, 旋律をつくろう</div>	
2 本時の学習課題をとらえる。 3 グループごとにCMソングをつくる。 (1) PRしたい名所や名産品と, PRしたい理由を確認する。 〈例〉 ・ラスカ→プロスポーツチームの試合が見たいから。 ・山桜→観光名所にして, 市外からの観光客を集めたいから。 (2) 前時に確認した言葉の抑揚に合わせて, 歌詞に音を当てはめる。 (3) 出来上がったパターンを図形楽譜に記録する。 (4) 通して演奏し, 自分たちの思いや意図が伝わる旋律になっているか確かめる。 〈構成のヒント〉 ・反復 ・変化 ・対照	・どのような旋律を創作したいか, 前時までに考えた歌詞と表現したい思いや意図を確認してから創作活動に入るよう助言する。 ◎音を出しながら意見交流し, 思いや意図をもって作品を練り上げていくことで, よりよい音楽表現を思考・判断し, 表現できるようにする。 ■創作するための意見を出し合う活動を通して, 友達の考えを尊重し, 互いに協力する態度を育成する。 ・意見がまとまらないグループには, ヒントカードを活用するように促す。 ・話し合いのみになってしまっているグループには, キーボードを用いて音を出しながら活動を進めるよう助言し, 音楽的な旋律だけでなく, 即興的にできた旋律や効果音等も立派な作品であることを伝える。 ・創作のルール及びヒントを掲示し, 確かめながら活動を進められるようにする。 ・進んでいるグループには, セリフも加えて「15秒CM」を制作するように促す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【創作のルール】 ・PRしたい理由や思いがあること。 ・PRしたい場所や物の名前を入れること。 ・8拍以上をつくること。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (評) 音楽表現の創意工夫 (観察, ワークシート) 言葉の抑揚, 構成を知覚し, それらの特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫し, どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 </div>

<p>5 本時のまとめと振り返りをする。 (1)振り返りをワークシートに記入する。 (2)数名が発表する。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	<p>◎学習計画表を用いて自己評価を行い、本時の活動を通して気付いたことや考えたこと、次にやってみたいことなどをまとめる。</p> <p>・次時は他のグループと作品を聴き合うことを確認する。</p>
--	---